

12億7100万円の増

1600万円

繰上償還8億4501万円が含まれる
(償還が始まる国営土地改良事業負担金)
支払い利子の軽減を図るため



歳 出

| 科 目 | 予算額 | 前年対比 |
|--------|-----------|--------|
| 農林水産業費 | 19億4660万円 | 409.9% |
| 民生費 | 16億7627万円 | 16.7% |
| 総務費 | 5億3076万円 | 6.4% |
| 衛生費 | 4億5414万円 | △24.8% |
| 教育費 | 3億9999万円 | △41.0% |
| 土木費 | 1億5309万円 | △51.0% |
| 消防費 | 1億5740万円 | △9.2% |
| 商工費 | 1億370万円 | 6.8% |
| 公債費 | 3億1548万円 | 11.3% |
| 議会費 | 7657万円 | △1.9% |
| 合 計 | 58億1600万円 | 28.0% |

(注) △はマイナス

主要な内容

- ① 職員数の減と給与条例改正による職員手当の減
..... 1839万円減額
- ② 大莞保育園の民営化による保育所運営委託料の増加や
子ども手当の創設..... 2億5654万円増加
- ③ 合併処理浄化槽設置事業..... 4705万円
- ④ 国営筑後川下流土地改良事業負担金繰上償還
..... 8億4501万円
- ⑤ 特用林産物活用施設整備事業（きのこ生産における
大規模栽培施設整備への助成）..... 6億円
- ⑥ 住宅改修促進事業..... 300万円
- ⑦ 産業振興まつり助成事業..... 300万円
- ⑧ 公債費は臨時財政対策債や有機資源循環センター建設の際
の借入の償還の増加
- ⑨ 繰上金（後期高齢者医療の給付費負担金、福岡県介護保険
広域連合負担金及び国民健康保険特別会計事務費繰上金が増加）..... 4億2900万円

第1予算審査特別委員会（総務常任委員会）

審査報告（概要）

委員長 田中 和美
副委員長 松枝 恒男
委員 井上 征行
井上 護

歳入では、町税が3・8%の減となっており、今後も景気の低迷により税の減収が懸念され、歳出では、義務的経費で、人件費は減少しているものの、扶助費、公債費のいずれも増加しており、今後、年々公債費の支出が増えていく見込みであり、今後は、さらに財政事情は厳しくなると思われるので、更なる行財政改革の推進と、健全な行財政運営を強く求める。

平成21年度から22年度にかけて第5次総合計画を策定されているが、未来への夢と希望が持てるような計画を作りたい。

「超高速ブロードバンドの整備」については、町民生活の利便性の向上、産業振興など地域経済活動の活性化に欠かせないものであり、少しでも早く利用できるようにされたい。

長引く不況による失業者増や個人、法人の収益減に伴う税に対する負担感の増により未納者が増えることが予想され、徴収対策の充実が重要である。また水道料や給食費等を含めたところでの未納者への徴収対策について、各担当者間で十分連絡調整を行われない。

消防団員の資質の向上に努められ、災害に対処できるよう土のう袋等の資器材を計画的に備蓄されたい。

入札制度については、地域産業育成を図るとともに、談合・汚職の防止、また透明性を向上させ同時に工事の質を確保し町民への説明責任が果たせるよう更なる入札制度の構築に努められたい。

第2予算審査特別委員会（文教厚生常任委員会）

審査報告（概要）

委員長 牟田口 美智子
副委員長 西田 勉
委員 中島 和正
徳永 豊
眞崎 萬次

校区民協議会の着実な組織化と、補助金については、きちんと活動に生かされるよう指導の徹底を指示する。

文化財保護費については、収集されている民具の公開場所の検討と、図書・